



報道発表資料

2010年2月10日
インフォテリア株式会社

インフォテリアのデータ連携ミドルウェア ASTERIA の導入社数が 1000 社を突破

～ 国産ソフトウェアとして、高品質で顧客満足度の高い製品開発を継続 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853）は、国内 EAI ソフトウェア市場におけるシェア No.1^{※1}製品であるデータ連携ミドルウェア「ASTERIA（アステリア）」の導入社数が 2009 年 12 月末現在で累計 1000 社を超えたことを発表します。

企業内外に存在する異なるシステム間のデータ連携を「ノン・コーディング」で実現し、企業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できる企業システムの構築を可能にする「ASTERIA」は、2002 年 6 月 25 日に出荷を開始しました。出荷開始以降、ユーザー企業の要望や環境の変化に応えるためにバージョンアップを重ね、利用シーンに合わせて製品ラインアップを強化してまいりました。その導入社数の推移は、以下の通りです。

2003 年 3 月末	2004 年 3 月末	2005 年 3 月末	2006 年 3 月末	2007 年 3 月末	2008 年 3 月末	2009 年 3 月末	2009 年 12 月末
20 社	78 社	150 社	251 社	362 社	462 社	660 社	1,109 社

また、導入社数の伸びを背景に民間調査会社の市場調査^{※1}においても直近の 3 年間連続で出荷本数シェア第 1 位を獲得しており、その地位を確固たるものとしています。

インフォテリア株式会社代表取締役社長/CEO の平野洋一郎は、「ASTERIA の導入社数が 1000 社を超えたことは、『ノン・コーディング』という斬新なコンセプトや、顧客ニーズを取り入れた弛まない製品改良が多くの企業に受け入れられた結果であり、大変感謝しております。インフォテリアは、全ての企業の『ビジネスを未来につなぐ』データ連携基盤としてその価値を発揮できるよう、ASTERIA をさらに磨いてまいります。」と述べまし

た。

インフォテリアは、これからも「つなぐエキスパート」として、ソフトウェアを介してあらゆるものを「つなぐ」ことによる未来価値創造に尽力してまいります。

■ インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様な「つなぐ」を実現し、コミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。主力製品の「ASTERIA」は大企業、中堅企業を中心に1000社以上（2009年12月末現在）の企業に導入されています。

→ <http://www.infoteria.com/>

※1 テクノシステムリサーチ社「2006/2007/2008年ソフトウェアマーケティング総覧」。

※Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。ASTERIAは、インフォテリア株式会社の登録商標です。

※本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社 広報担当：嶋 かおる

TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261

E-mail:press@infoteria.co.jp